

1 現プランの概要

策定背景

- 国は「まち・ひと・しごと創生法」(2014.11)に基づき、2060年に1億人程度の人口を確保する長期ビジョン「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と2015～2019年度の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定(2014.12閣議決定)
- 札幌市においても、「人口減少の緩和」の方向性を具現化するため、人口の現状分析・将来展望等を示す「人口ビジョン編」と2015～2019年度の基本目標、施策等を示す計画「総合戦略編」からなる「さっぽろ未来創生プラン」を2016.1に策定

計画体系

- 札幌市まちづくり戦略ビジョンの個別計画に位置づけ
- アクションプランはもとより、各分野の個別計画とも相互に整合性を図った

2 次期プラン策定の趣旨

- 総合戦略編は2019年が計画最終年度であることから、切れ目のない人口減少対策に取り組むとともに新たな課題に対応するため、今後取り組むべき施策について再構築が必要
- 札幌市が市民・企業と一丸となって人口減少の緩和に取り組むために、最新の統計に基づく将来推計人口や直近の社会変化から目指すべき将来像と基本方針を示すことが必要
- 総合戦略編の策定はまち・ひと・しごと創生法に基づく地方版総合戦略の位置付けであり、地方創生関連交付金の実質的な交付要件であることから、国の新たな計画を勘案した見直しが必要

3 計画期間

- 国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間は2020年から2024年
- 国の動きと連動した効果的な施策を実施するため、次期プランは国と同期間である5年間

4 全体構成

○現プランと同様に「人口ビジョン編」、「総合戦略編」の2編の構成

①人口ビジョン編【対象期間：2060年まで】

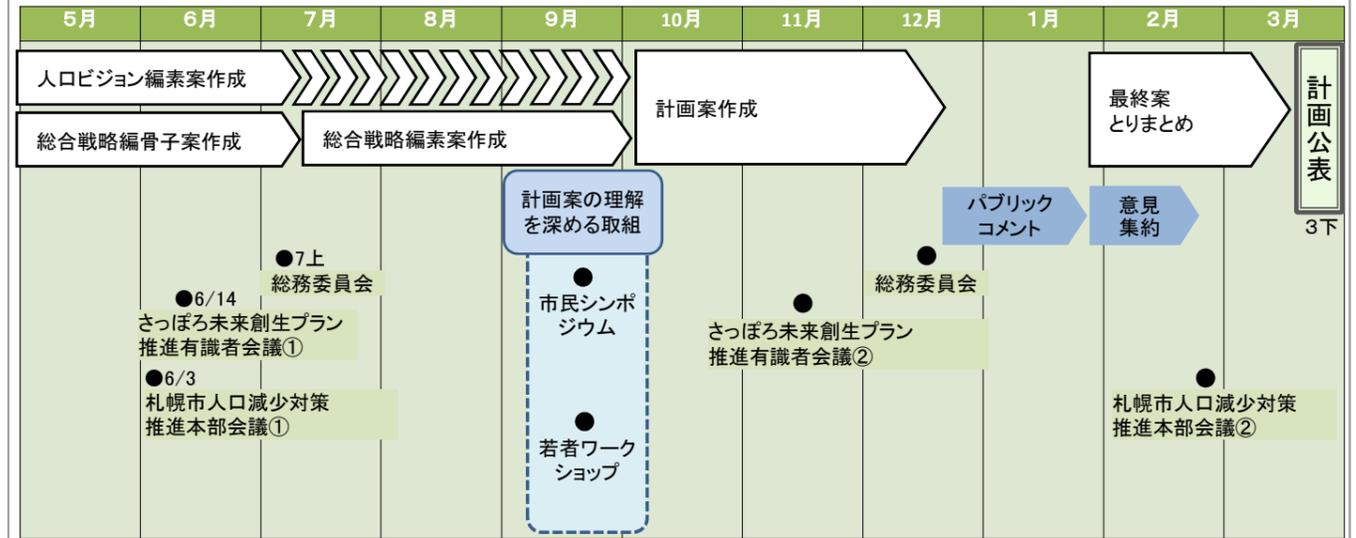
札幌市における人口の現状を分析し、市民と認識を共有するとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもの

②総合戦略編【計画期間：5か年(令和2～6年度(2020～2024年度))】

現行プランの総括と人口ビジョン編を踏まえた今後5か年の目標や施策の方向性、重要業績評価指標(KPI)を設定した具体的な施策を示すもの

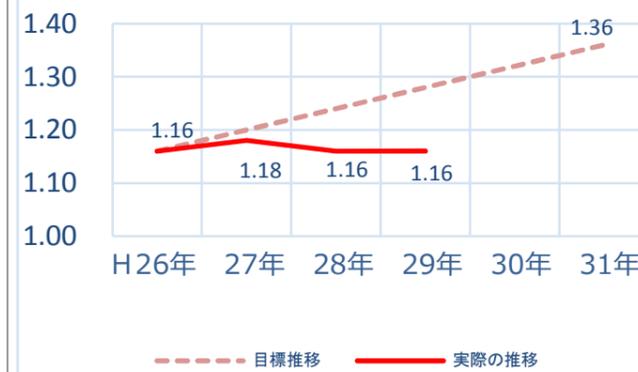
5 策定スケジュール

- 人口ビジョン編、総合戦略編それぞれ、庁内議論、有識者の参画、議会審議を経て策定
- 人口ビジョン編で示す目指すべき将来像を市民と共有するとともに、市民意向を的確に把握するためパブリックコメントの募集に加え、市民シンポジウムと若者ワークショップを実施

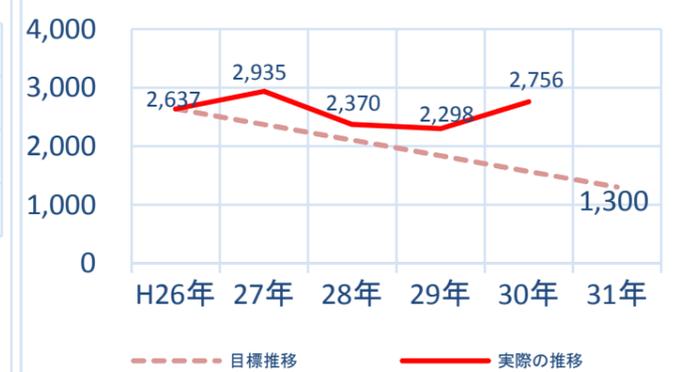


6 現プランの評価

数値目標1 合計特殊出生率



数値目標2 20代の道外への転出超過数



KPI(重要業績評価指標) ※参考資料1参照

	基本目標1		基本目標2	
	件数	割合	件数	割合
A 目標達成している	5件	25%	3件	21%
B 目標達成に向けて改善している	9件	45%	6件	43%
C 当初値より悪化している	6件	30%	5件	36%

- 数値目標1「合計特殊出生率」は当初値から横ばいで推移しており、目標値との乖離が大きくなっている。
- 数値目標2「20代の道外への転出超過数」は改善傾向にあったが、H30年度に当初値よりも悪化した。
- 基本目標1「安定した雇用を生み出す」に係るKPIは概ね改善傾向にある。
- 基本目標2「結婚・出産・子育てを支える環境」に係るKPIは当初値より悪化している割合が比較的高い。